

第 34 期新潟市社会教育委員会議 会議概要

第 9 回社会教育委員会議	
開催日時	令和 4 年 3 月 11 日（金） 午後 2 時 45 分～午後 4 時 30 分
会 場	クロスパルにいがた 4 階 403・404 講座室
出席者	<p>【社会教育委員】 岡 昌子、小川 崇、角野 仁美、木村 いほ子、雲尾 周、笹川 博人、 出頭 久美子、田中 一昭、田中 宏和、山田 久美子 計 10 名 * 敬称略</p> <p>【事務局】 地域教育推進課長、中央公民館館長補佐、中央図書館館長補佐、生涯学習センター所 長、生涯学習センター所長補佐、生涯学習センター職員 3 名 計 8 名</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 生涯学習センター長あいさつ</p> <p>3 報告事項 (1) 第 8 回（書面会議）における質問事項について ○報告資料 1 に基づき、書面にて開催した第 8 回会議において委員から提出された 質問について、各所属長が説明を行いました。 【主な質問・意見等】 ・質問や意見はありませんでした。</p> <p>4 協議事項 (1) 令和 4 年度社会教育関係団体補助金について ○協議資料 1 に基づき、生涯学習センター所長が令和 3 年度社会教育関係団体補助 金について説明を行いました。 【主な質問・意見等】 ・質問や意見はありませんでした。</p> <p>5 意見交換 (1) コロナ禍における社会教育について ○各委員が第 34 期の振り返りを行いました。 【主な意見等】 ・地域教育コーディネーターとして学校と関わっているが、学校教育と社会教 育のギャップを感じざるを得ない。次年度からコミュニティ・スクールが始 まる。地域から学ぼうとする姿勢はあっても、先生は自分のテリトリーの中 で目一杯というところがある。それでも少しずつ地域の力を借り、子どもた ちが将来、次世代育成の中で育っていくことに協力できればいいと思ってい る。 ・公民館で家庭教育の支援に関わっているが、新型コロナウイルスが起きた時 はすべて中止となった。しかしこういう場を求めている人がたくさんいるこ とが伝わってきて、公民館職員がオンラインで実施したり、開催方法を工夫 して開催していた。この点はコロナ禍におけるポジティブな面と感じている。 オンラインというやり方ができるようになったことは、他にも良い面がある と思っている。例えば、忙しい行政職員が会場に来ることができなくても、 研修会に参加することができる。また、地域の高齢の方は Zoom などではできな いが、公民館や集会所でサテライト会場を作れば参加することができる。こ</p>

<p>内 容</p>	<p>んなふうに、考えて工夫して行動してきたということがとても良かったと思 っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の初期に、公民館はともかく、98%くらいの図書館が休館したと新聞報道で見たがショックだった。図書館は大声をあげたり、話し合うような場ではないので、大丈夫だと思っていた。学校も同様で、無理して休ませることはなかったような気もしている。 <p>いろいろ勉強させていただいた。こういう経験が自分のプラスになると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員をさせていただき、文章を書く、人の書いたものを読むという機会があったことは良かったと思うが、かなり大変だった。 <p>新型コロナウイルスに関しては、活動団体として感じるが、公民館の休館などにより集まる場所がなくなるということは、活動の中でかなり制限が加わるということが事実としてある。</p> <p>IT 環境がある家庭や個人で、タブレットやスマホを持っていれば情報をつなげることができるが、そういう環境がない人もいる。新型コロナウイルスで IT 環境が良くなり、連絡が取りやすくなったという面もあるが、そこに足を踏み入れることができない人がいるということも事実で、そういった格差が広がっていると感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前勤務していた中学校の生徒が CC 講座に関わっていて、直に公民館の仕掛け役と話したことが印象深かった。高校が地域の学習に取り組み、公民館が上手に提案をして、最初は生徒会の代表だけが参加したものが、どんどん広がっていったということで、感心したとともに嬉しい。 <p>コロナ禍で、各種団体が今までやってきたことに対し見直しをしてきた。例えば、団体や行事は形骸化していたら簡略できるのではないかと見直しがされていると思うが、物事は遊びというかのりしろがあるのでと思う。コロナ禍ですべて削減ということも大切だと思うが、アイコンタクトでつながる場合もあると思う。そういったものを見失うことなく、大切にしていかなければならないと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育は本当に奥が深く、いろいろな意見を聞かせていただき、知識を得た、増えたと思う。自治協議会に所属しているので、そちらにフィードバックできればと思う。 <p>新潟市小中学校 PTA 連合会は、この 2 年間は全国大会をはじめ、関東ブロック大会等すべて中止になったと聞いている。地元の小学校も、1 年間 PTA を休みにしたなど、非常にできることは限られていたのかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの経験をさせていただき、皆さんの実践やご意見をいろいろ聞かせていただいた。大事なことが整理できたり、新しい情報が入ったりして、とても勉強になった。 <p>コロナ前からも感じていたが、子どもも保護者もすごく学校に依存している。家で教えるようなことも学校に聞くという感じになっている。「それは家で教えること」という人がいないからと感じていた。</p> <p>就学時健診、公民館の出前講座で家庭教育の大切さと学校教育という話をお願いしている。保護者の講座アンケートの自由記述では、子どもを授かった時の喜び、自分の役割に気づかされた、学校の連携が大事だということを書いてあり、こういう話を聞いたことがなかったのだと実感した。</p> <p>電話をかけてくる保護者も、学校に「やってください」というのではなく、「どうすればいいのですか、困っています」という叫びなのだと思えると、管理職、担任がキャッチして、学校と一緒に子育てをしていくということが大事だと思う。</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>リモートやオンラインもいいが、つながりを持つ講座や場所の存在が大事だし、それが親の安心感につながって、次世代の育成にもつながっていくのではないか。そういうところが、会議に参加して点と点が線につながってきたと感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことにおいて他者というのはものすごく重要だと思う。例えば本を読むことも他者との対話で、ネットで何かを調べている時も見えないけれどもその向こうに他者がいる。それも大切だが、もっと大切なことは、集まっているいろいろなことを考えたり、感じたり、そうではないのではと思ったりすることで、それがおもしろい。 <p>一方で、テクノロジーが進化してくると、場所は違っても時間は共有できる。それは素晴らしく、もっと進んでいくと思うが、歯がゆくないか。対面であればすぐに「もう 1 回いいですか」といえるが、技術では超えられない部分があるのではないかと考えている。</p> <p>できないのではなくどうしたらできるか、できる範囲でどうするかということと考え、実践されてきたと思うが、もう少し我慢の時期が続くと思っている。</p> <p>皆さんのお話を伺えて、とても勉強になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員という立場で、他の委員や同じように社会教育を考え行動されている方々と交流を持てたことが、自身の中で刺激になった。そこで得たことをどのように新潟市の社会教育に還元できるか、行動できるかというところが難しく、どこまでできただろうかというところもある。そこはこれからまた皆さんにつながりながら実践していけたらと思う。 <p>コロナ禍において、社会教育がこれからの地域や住民自治を作っていく要なのではないかと思っていて、今こそ社会教育を新しく見つめ直して新しいアクションを起こしていけたらいいと思っている。またつながりながら一緒に何かできていけたらと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館で本を借りたり、読書ができるようになったり、夜に歩く人がたくさん出るようになり、いわゆる生涯学習や生涯スポーツはこのコロナ禍でもむしろ深まった、普及したというところがあると思う。その中で、やはり社会教育の大切さ・つながりというのが見つめ直された 2 年間かと思う。つながる中で、学んだ成果を地域のためにどうやって活かしていくか。1 人ではできないが、みんなでつながれば何とかできる、1 人では考えつかないようなことでも、みんなで考えれば掛け算でいいものが生まれてくる、といったことが非常に考えられてきて、この報告書にも表れている。たとえ少子高齢化で人が少なくなっても、ネットを介してもっと遠くの人ともつながれるという手段もできてきた。緊急提言の中でも書いたが、新潟から出た人とでもすぐつながれるようになっているというところは大きなメリットでもある。そういった展開をこれからも続けていければいいのではないかと思う。 <p>○その他資料 1 に基づき、教育委員会事務局の取り組みについて、各所属長が説明を行いました。</p> <p>○事務局の取り組みを踏まえ、次世代育成の視点から見たコロナ禍における社会教育について、社会教育委員と事務局で意見交換を行いました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の出産前後の保護者への働きかけは、産後うつが話題になっているし、虐待など子どもの人権が脅かされることがたくさんあるので、絵本というツ-
------------	---

	<p>ルを使って、孤独、孤立しがちな家庭に一步でも近づけるのにいい取り組みだ と思う。保健センター、保健所とも協力し、子どもたちの人権を守ることに つながっていくといい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍について、学校との連携の方法について聞きたい。 <ul style="list-style-type: none"> →子どもたちがタブレットを1台ずつ持っているので、授業の中で気になる ものや参考文献などを、学校の図書館に行かなくても公共図書館の電子図 書館を活用することで、深みのある学びを提供することができると考える。 ・高校の探求学習などで、資料にどうアクセスするかということが課題になって おり、電子書籍はいろいろな可能性が広がる取り組みだと思う。 ・漢字、物理や数学の公式は、何遍もノートに書き写して覚えた。手で書いて覚 えたものがタブレットで覚えられるのか。先生にお聞きしたい。 <ul style="list-style-type: none"> →高学年では、変換してどれが正しいか選ぶという勉強の仕方もある。低学 年では、書き順を練習するアプリもあり、手やタッチペンで書いている。 キーボードで打つものもあれば、タブレットを画面にペンで書いて打ち込 んでいくというものもあるので、紙とノートがタブレットになったという 感じた。 良いところもある。障がいのためマス目の中に鉛筆で書くことができない、 辛いという子どももいる。タブレットはややこしいことがないので、特に 困り感が今まであった子どもにとっては、多様に対応できるという意味で はとても良い。あくまでも道具だと思って使っており、ハイブリッドで紙 と鉛筆も使っている。 ・一斉に学校にタブレットが導入されたが、5年かけて順に入るはずだったもの を1年間で導入した。耐用年数がきて更新する時に、家庭負担になる可能性が 今のところ高いが、各家庭でどんなものを買うかわからない。 そして、今は学校から貸し出す時に、夜8時から朝6時までには使えない設定に するなどして子どもたちのネットトラブルを防げているのが、個人の持ち物に なるので規制ができなくなってくる。その時までには、使い方をみんなが習得し てランディングしていかないといけないし、そして社会教育の側もそこにうまく 乗っかっていくことが必要だろうと思われる。そういう中で、公民館でWi-Fi を設置する、図書館で部屋と部屋をZoomでつなぐといった工夫をして、いろい ろと考えて試していくという期間になると思う。 ・学校現場ではネット環境のない場合は、ルーターを貸し出しているが、一般の 方はどうか。ルーターを持っていない家庭もあるので、完備を目指すべきなの かと思う。何らかの方法で環境のない方に提供するということがあるといいと 思う。 ・市民向けのオンライン講座の回数や参加者数はどのくらいか。 <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍、GIGAスクールをきっかけに、市民全体のデジタルリテラシーを上げ ていくことも今後必要で、子どもたちが鍵ではないかと思う。子どもたちのほ うが詳しいので、小中学生や高校生が市民に出向いてレクチャーやサポートす るようなことができたらいいいと考えている。 →1講座が約2時間で、午前、午後に分け、計12名が参加した。 まん延防止等重点措置が出る前は、専門学生が講師のスマホ講座を予定し ており、希望者が非常に多かった。このような講座の回数を増やしてい たい。 ・専門学生も含めて、子どもたちが主役になれるところだと思うので、よい機会 と捉えて、うまくコラボを作っていけたらと思う。
--	--

第 34 期新潟市社会教育委員会議 会議概要

	<p>6 その他</p> <p>○角野委員から、公民館のあり方について考える「公民館のしあさって」の読書会を実施したいという提案がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味のある委員は、角野委員に直接連絡を取るようになりました。 <p>7 閉会</p>
傍聴者	0名
会議資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・第 34 期新潟市社会教育委員会議（第 9 回）次第 ・報告資料 1 第 34 期新潟市社会教育委員会議第 8 回（書面会議）質問事項 ・協議資料 1 令和 4 年度社会教育関係団体補助金【非公開】 ・その他資料 1 コロナ禍における社会教育について～次世代育成の視点から～